

デイニスが答えを見いだす

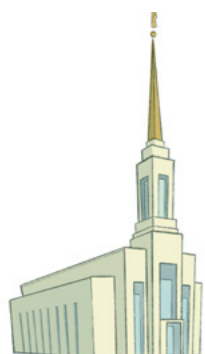
教会機関誌

ルーシー・スティーブンソン・イーウェル

(ほんとうにあった話をもとに書かれました)



ポルトガルは
西ヨーロッパの国です。



ポルトガルには
一つの神殿があります。
2019年に
ほうけんされました。



ポルトガルには
世界でいちばん古い
書店があります。

デイニスがしせいを変える度に、二段ベッドのマットレスがきしみました。デイニスは一晩中、寝返りを打っていました。でも、どうしてもねむれません!

もし宣教師たちが間違っていたら? デイニスは考えました。もし結局、これが真実の教会じゃなかったら? もしぼくが間違った道にいたら? そのような疑問になやまされ続けていたのです。

デイニスの家族が教会に入ったのは2年前、デイニスが10才のときでした。初めて宣教師から教えを受けたとき、デイニスはすぐに、宣教師が教えていることは真実だと感じました。デイニスと家族は、ポルトガルで教会に入った最初の方の人たちでした。デイニスは開拓者だったのです!

けれども、最近、デイニスはなやみ始めていました。もしバプテスマを受けたことが正しい選択ではなかったら?

デイニスは自分がなやんでいることを、だれにも話しませんでした。お兄さんにも弟にも、妹にもです。両親にさえ話しませんでした。けれども今夜は、そのなやみで頭がいっぱいになりました。

デイニスはため息をつきました。ベッドのはじから見下ろすと、下のだんではお兄さんと弟がぐっすり寝入っていました。デイニスは一人ぼっちでした。

教会が真実かどうか、神にたずねる必要があると知っていました。デイニスはベッドの真ん中でひざまずきました。そして頭を下げて、いのり始めました。

「神様、お願いします」とデイニスは静かに言いました。「ジョセフ・スミスがほんとうにあなたとイエス様に会ったのかどうか教えてください。」

デイニスは前に何回もいのったことがありました。けれども、今回はちがっていました。デイニスはほんとうに知る必要がありました。助け



デイニスは伝道本部の
水泳用プールで
バプテスマを受けました。



デイニスはスペイン、
ポルトガル、
アフリカの沖にある島々で
伝道しました。



デイニスと3人の
きょうだいは、みんな
同じ時期に伝道しました!

「ただ何が正しいのかを知りたいんです。」



を求めて、これまでにないほど一生懸命にいのりました。

「ぼくは間違っていたくありません」とデイニスはささやきました。「ただ何が正しいのかを知りたいんです。」

そのとき、デイニスは何かを感じました。強くて、温かい気持ちです。それは大きくなっていき、やがて全身で感じるようになりました。デイニスは、よろこびがあふれ出しそうな気分になりました!

デイニスには、その気持ちがせいれいであることが分かりました。神がいのりにこたえてくださったのです! 宣教師たちは正しかったのです。ジョセフ・スミスはほんとうに預言者でした。バプテスマを受けたのは、ただの良い選択ではありませんでした。最高の選択だったのです。

デイニスはあおむけになって天井を見ました。なやみは消えていました。デイニスは毛布を体にかけてました。そしてすぐにねむりにつききました。

大きくなってからも、デイニスは二段ベッドでいのった夜のことをずっと覚えていました。イエス・キリストの教会の会員として、自分が正しい道に知っていることを知っていました。そして、天の御父がいつでも自分のいのりを聞いてくださることを知っていました。●